

麻生情報ビジネス専門学校

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力を学生が身につけることができるよう、カリキュラムマップを定め、体系的に教育課程を編成します。

【教養教育】

感謝と思いやりの心を持って社会で貢献できるように自ら環境と今後について考えます。また、国語や数学の基本的な学力とビジネスで必要となるコミュニケーション手法やアプリケーションの使用方法を学びます。

【専門教育】

（情報工学科）

I Tエンジニアとして必要な専門性を身につけるため、カリキュラムは「理論」と「演習」によって技術を定着させ、「実習」によって実践的な能力を伸ばします。また、社会で必要とされるI Tシステムの企画、設計構築、運用を高度に行うために必要な科目によって構成します。

（情報システム専攻科）

I Tエンジニアとして必要な専門性を身につけるため、カリキュラムは「理論」と「演習」によって技術を定着させ、「実習」によって実践的な能力を伸ばします。また、社会で必要とされるI Tシステムの設計構築、運用を行うために必要な科目によって構成します。

（情報システム科）

I Tエンジニアとして必要な専門性を身につけるため、カリキュラムは「理論」と「演習」によって技術を定着させ、「実習」によって実践的な能力を伸ばします。また、社会で必要とされるI Tシステムの構築、運用を行うために必要な科目によって構成します。

（国際I Tエンジニア科）

I Tエンジニアとして必要な専門性を身につけるため、カリキュラムは「理論」と「演習」によって技術を定着させ、「実習」によって実践的な能力を伸ばします。また、社会で必要とされるI Tシステムの知識と使用方法を学ぶために必要な科目によって構成します。

（経理科）

ビジネスパーソンとして必要な専門性を身につけるため、カリキュラムは「理論」「実技・技能」「演習」の3本柱とし、これらをバランスよく学んでいきます。総合職として活躍できる力を身に付けるため、簿記・会計・税法の専門的かつ実践的な学習をし、会計や会

計情報のパソコン処理を総合的に学ぶための科目によって構成します。

(情報ビジネス科)

ビジネスパーソンとして必要な専門性を身につけるため、カリキュラムは「理論」「実技・技能」「演習」の3本柱とし、これらをバランスよく学んでいきます。総合職として活躍できる力を身に付けるため、ビジネスソフトを総合的に使いこなし、事務処理効率化の提案や、効果的プレゼンテーションを総合的に学ぶための科目によって構成します。

(ビジネスエキスパート科)

ビジネスパーソンとして必要な専門性を身につけるため、カリキュラムは「理論」「実技・技能」「演習」の3本柱とし、これらをバランスよく学んでいきます。総合職として活躍できる力を身に付けるため、ソフトウェアを全般的に使いこなし、指導・教育担当者として必要なプレゼンテーション、インストラクション、コミュニケーション能力を総合的に学ぶための科目によって構成します。

(経営ビジネス科)

ビジネスパーソンとして必要な専門性を身につけるため、カリキュラムは「理論」「実技・技能」「演習」の3本柱とし、これらをバランスよく学んでいきます。社会や企業の課題解決を行える力を身に付けるため、IT・経営・データ分析に関する知識を身につけるための科目によって構成します。

(国際ビジネス科)

ビジネスパーソンとして必要な専門性を身につけるため、カリキュラムは「理論」「実技・技能」「演習」の3本柱とし、これらをバランスよく学んでいきます。総合職として活躍できる力を身に付けるため、日本語のみならず、日本のビジネス慣習、ビジネスマナー、パソコンスキル、そしてビジネスに関する基礎知識を総合的に学ぶための科目によって構成します。

【キャリア教育】

ゼミナール、キャリアデザインの各科目や学科行事においてキャリア教育を実施します。就職についての意識を醸成すると同時に、実際の活動に必要な知識を学ぶ。また、早期退職防止のために社会人としてのマナーや企業文化も学びます。

【評価方法】

学修評価は、各授業科目の学習内容、到達目標、成績評価の方法・基準をシラバスにより学生に周知し、それに則して成績評価を行います。

卒業時にはディプロマ・ポリシーの各項目の修得と達成度合いに基づき総合的に評価し、定められた卒業要件に基づき卒業判定を行います。